

## 平成28年第2回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 木本 睦博

※最初は一括質問一括答弁、2回目より一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 多面的機能支払交付金における広域活動組織の設立について	多面的機能支払制度は平成19年に農地・水保全管理交付金として設立され、昨年度から法制化され、現在の名称で運営されているが、組織内の高齢化・事務の複雑化等で組織の運営等が困難な地域があることから町全体を一つの広域活動組織にとの検討会が2回開催されたが、その後の広域化に向けての進捗状況・時期を問う。	町長
2. 猿の捕獲対策について	猿被害が増え続けている。政府も今後10年間で猿の群れ(加害群)を半減すると発表している。 町内でも農作物やペット等も襲われる被害が出ている。このままでは、生産意欲も失われ耕作放棄地も増えるばかり。放置すれば、猿も増え、人的被害に及ぶおそれもある。今後の猿捕獲対策を問う。	町長
3. 防災行政無線について	町内では一昨年、防災行政無線がデジタル化され41ヶ所に設置されている。旧防災無線は風向きにより聞き取れない時もあったが、新しく設置されたデジタル無線は山の手の世帯は山にこだまし全く聞き取れない。せっかく新設された防災無線、場所・方向・音声等を考慮し、全世界帯に聞き取れるようにならないか。	町長

質問者2 高川 喜彦

※最初は一括質問一括答弁、2回目より一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 重要文書の保存について	3月定例議会の一般質問で尋ねたが、その後、役場庁舎の確認申請書は役場に保存されていないことが判明したと聞いた。 町長の答弁と現実とは違うようだが、この点、正確な事実、経緯を尋ねる。	町長
2. 本年の住民の税、社会保障費の個人負担率を尋ねる	毎年質問している個人の税及び社会保障費の負担率を算出して下さい。なお、40歳以上の介護保険料を加えた負担率もお願いします。固定資産税の平均的課税例も算出して下さい。	町長
3. 地方創生関連で本町人口の社会増(減)の状況を尋ねる	新聞報道によると、総務省の住民基本台帳人口移動報告によると、中国地方でじわじわと移住者が増加しているとのことである。本町の社会増(減)の傾向はどのような状況で、その対策はどのように考えておられるか尋ねる。	町長
4. 内部統制の強化について	地方自治法が制定、公布されて本年5月で満69年を迎えた。私はこれからの町政を展望する上で、さらなる内部統制強化の姿勢が大切ではないかと痛感し、町長のご所見を尋ねる。	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 災害時の備えは万全か	<p>先日の熊本大地震は想定を上回る災害で多くの住民が避難し厳しい生活をしている。また、各自治体も罹災証明書発行など対応に追われている状況である。全国の自治体に義務付けられている「地域防災計画」では、田布施は津波と水害、地震を想定していると思われる。各災害が想定を上回った場合の備えは万全か、非常時の対策など下記についてご質問致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所への緊急職員配備、運営方法マニュアルはあるか</li> <li>・物資の輸送方法、食料、給水配給マニュアルはあるか</li> <li>・車中泊への対応方法は出来ているか</li> <li>・ライフラインの復旧順位はどうか</li> <li>・各避難所での物資の備蓄はあるか</li> <li>・避難所運営体制の構築は出来ているか</li> <li>・防災担当職員の養成は出来ているか</li> <li>・罹災証明書の発行の対応は良いか</li> <li>・防災訓練を増やせるか</li> <li>・仮設住宅候補地はあるのか</li> <li>・業務継続計画（BCP）は策定しているのか</li> <li>・行政データのバックアップはしてあるのか</li> </ul>	町長
2. 竹林対策プロジェクトを設立してはどうか	<p>町内至る所で竹が繁茂し畑や林が竹林化している。山口県も小野田市に竹チップ専用のバイオマス発電施設を建設している。福岡県八女市では竹対策の取組として竹細工、竹食器、農業用資材販売、竹の伐採とチップ化、竹林オーナー制度を行っている。竹粉菌床のしいたけ栽培なども出来ると聞く。これにより雇用の創出、地域経済の活性化、地域環境の整備が期待できる。専用重機により竹チップも簡単に出来、販売ルートを確認出来れば採算が合うのではないかと。地方創生の一環として竹対策プロジェクトを設立してはどうか。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 地方創生総合戦略の取組みについて	<p>昨年12月議会で地方創生総合戦略38事業の内、本町が特に重点的に取り組むもの、緊急性の高いものとして次の4事業を掲げられた。それらの経過と現状実績を尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①サテライトオフィス等推進事業（光ファイバー網整備事業）</li> <li>②農水産物ブランド化調査・検討事業</li> <li>③子育て支援事業</li> <li>④たぶせIJU促進事業。</li> </ol>	町長
2. 田布施町役場庁舎問題について	<p>3月議会で現庁舎は耐震化し財源の見通しが立った後、現在地に新築を要望する陳情書を議会で採択した結果、執行部は県と進めてきた旧田布施工業高校への移転案をこの5月に正式に取下げられた。</p> <p>しかし、平成28年4月14日及び16日に、熊本地方で震度7の地震が発生し、現在もなお余震が続いている。専門家によれば、日本列島は地震の静穏期から活動期に入り、この活動期は南海地震発生までの10数年は終わらないことが予測されている。</p> <p>こうした時、本町においては役場庁舎が防災センターとしての重要な機</p>	町長

	能を果たせるように耐震性を強化することが喫緊の課題である。 本件について、町長は現在どのように考えておられるか尋ねる。	
3. 麻里府地区の展望について	次の3点について尋ねる。 ①麻里府保育園は入園児減少のため閉鎖との話を聞くが、事実か。 ②麻里府小学校跡地の活用計画はあるか。 ③麻里府公民館は老朽化し、海に近く台風の時に避難場所にならない。 国道188号線近くへの移転計画はないのか。	町長
4. 認知症対策について	本町の認知症対策の取り組みなどについて次の3点を尋ねる。 ① 本町における認知症高齢者数及び将来推計 ② 国は昨年1月に認知症対策推進総合戦略を策定し、7つの柱にそって総合的に推進することになっている。この総合戦略を反映した本町の主な取り組みはどうなっているか。 ③ 総合戦略における目標として、市町村には平成30年度から『認知症初期集中支援チーム』の設置が義務づけられ、医療・介護の専門職が家族の相談等により、認知症が疑われる人やその家族を訪問し、必要な医療や介護の調整などの初期の支援を短期間で行うことになるが、その内容と町の対応方針について、現時点での考えを問う。	町長

質問者5 松田 規久夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 安心して住める町づくり	熊本地震の発生で、地震や台風、火山活動被害などの災害対策が話題となっている。昨年の6月議会でBCP（業務継続計画）の質問をした。自然災害に備え、町民の安全、安心を守らねばならない行政の責務として以下の質問をする。 ① BCP作成後に防災対策訓練の実施予定はあるか。想定する災害の種類と規模は。 ② 職員を熊本に派遣したが、その経験はどのようにBCPに反映するのか。 ③ 災害を想定した場合、災害対策本部機能の確保は充分か。 ④ 通常時のインフラの維持、管理と被災時の早期復旧は。 ⑤ 水を含めた支援物資の備蓄と被災後の行き届いた配送は。 ⑥ 職員のみでは人員が不足する。被災時、被災後のボランティアは考えているか。 ⑦ 重大、緊急な住民周知には、サイレンと放送の両方が必要と思うがどうか。 ⑧ BCP作成前に訓練を実施し、PDCAでより実現可能な計画にしてはどうか。	町長
2. 魅力ある町づくり	少子高齢化で若者の移住、新生児の増加、転出者の減少など、さまざまな人口増加対策が望まれる。人口の増加は魅力ある町でなければ不可能と思える。では、どう対策をするか。情報発信し、田布施町の住みやすさをアピールしたい。熊本地震被害のニュースにより、安全、安心な町づくりも一つの方法だろう。しかし、これは県内どこの市町も総合計画やBCP（業務継続計画）作成で目指し、田布施がアピールするには更なる一歩が必要となる。 田布施町に住居を構え、生活のコスト（電気、水道、ガス、税金など）を除いて子育てを考えた場合、高校までの教育環境は実に良い。この口	町長

	ケーションの良さを若い人にアピールするとともに、幼稚園、保育園の保育料の無料化の実現は、保育料はいったん全額納付してもらおう。小学校入学時に納付済みの保育料を返還し、将来の学資として大学進学などの備えとならないか。その時、投資セミナーの開催も一案だ。他の市町がやっていないことに挑戦して若者の人口増加を図りたい。	
3. 小中学校に無線LAN	国は携帯電話会社などが納めている電波利用料を財源に2020年までに全国すべての小・中・高校に無線LAN「Wi-Fi」を導入する方針。デジタル教科書の普及に向け、無線LAN導入費用の半分を国が補助する。災害時には避難者に開放し、携帯電話の基地局が故障してもインターネットや電子メールが使用できる。田布施町の無線LAN導入計画は、文部科学省の専門家会議は、デジタル教科書の20年度導入を提案したが、デジタル教科書をどう考えているか。	町長 教育長

質問者6 國永 美恵子

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 震災について	<p>4月におきた熊本地震では最大震度7を記録した。阪神大震災の後、国は自治体に学校や公共施設の耐震化を求めており、本町でも学校等で耐震化を行ってきている。</p> <p>熊本地震では耐震改修を済ませた庁舎が使えなくなったり指定の避難所が開設できなかった町もあった。防災と被災後の対応は重要であり、迅速、的確な行政対応が求められる。熊本地震では液状化による被害も出ている。液状化については本町も例外ではないと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・液状化が予測される地域の把握はできているか。</li> <li>・公共施設地、避難場所についての把握はされているか。対策も考えられているか。</li> <li>・平成22年に作成された地震ハザードマップのように液状化に対してもマップ作りはできないか。</li> </ul>	町長
2. 井戸水の水質検査について	<p>水道企業団が井戸水の無料水質検査を実施するが、これは企業団の給水区域内に限るものであって、町内全域が対象とならない。熊本地震の後、上水道の復旧に時間がかかり、給水場に水を求めて列ができた。今の時代、飲料水だけでなくトイレに大量の水が必要である。東日本の震災後には手押しポンプの需要が多くあったと聞く。</p> <p>様々な状況を考えると井戸水も大切である。上水道を利用していない家庭の井戸水水質検査料に補助を出してはどうか。</p>	町長
3. 高齢者いきいき館利用の地域振興について	<p>高齢者いきいき館の事務所を利用し、地域振興室機能も行うという案が12月に示された。2つの課による連携と職員配置では健康保険課のパート職員、経済課職員、地域おこし協力隊員を配置し、中心地で情報発信等を行うとするものであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月にスタートし2ヶ月経過したが、現状はどうなっているか。問題点や改善すべき課題はあるか。</li> <li>・観光・交流イベントの情報発信窓口が土日休みでも充分対応できるか。</li> <li>・今後に向けて、問題点や改善すべき課題はどう考えるのか。</li> </ul>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 庁舎の耐震化等について	<p>現庁舎は耐震性について、危険性があると診断されている。。</p> <p>熊本地震がこの4月14日に発生し甚大な被害を及ぼした。また、南海地震が今後30年以内に発生する確率は、現時点で70%前後であり、さらに南海トラフの震源域で、地震を引き起こす「ひずみ」が、四国や東海の沖合などで特に高まっていることが明らかになった。</p> <p>こうしたことから、まず庁舎の耐震化を実施すること、これと合わせて修繕、長寿命化、エレベーター設置を実施することは喫緊の課題である。そのための、工法、経費、交付金や補助金はいくらか、業務を続けながら工事が可能かなどの計画書や設計書の作成が急務である。</p> <p>また、町では庁舎建設基金の積み増しをしておらず、財源確保の計画を立て、どのような規模の新庁舎にするのか、現庁舎を利用し第2庁舎建設にするのか、増築にするのかなど検討資料の作成が必要である。</p> <p>これからの庁舎建設計画の見解について尋ねる。</p>	町長
2. 地方創生について	<p>国・地方を挙げて「地方創生」の取り組みが進められている。「田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を具現化していくことにより、将来にわたって成長する力を取り戻すことが必要である。</p> <p>地方の自主性を第一としつつ、国は地方版総合戦略を成功に導くため、財政面での支援を行い、26年度補正予算において「地方創生先行型交付金」を創設し、続いて27年度補正予算では「地方創生加速化交付金を創設し、28年度当初予算では地方創生の深化のための、新型交付金である「地方創生推進交付金」が総額1,000億円の予算規模である。田布施町総合戦略を安定的・継続的に執行し、地方創生や人口減少問題の克服を成し遂げるためには、新型交付金の確保をはかるべきと思うがどのように取り組んでいかれるのかを問う。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
1. 熊本地震を教訓とした本町の地震対策は	<p>この春の熊本地震は大変ショッキングな出来事であり、被害に遭われた方々のことを思うと胸が痛む。</p> <p>さて、比較的地震には安全な地域と思われていた場所が、あんなつたのをまざまざと見てしまうと、本町も震度7の地震がいつ襲ってきても不思議ではないと町民すべてが感じたと思う。よって本町の具体的な地震対策を数問尋ねる。</p> <p>① 避難所の食料備蓄は十分か。</p> <p>② コンビニやスーパーとの非常時の食料無料供出などの協定はあるのか。</p> <p>③ 個人住宅の耐震補強工事に補助金はあるのか。</p> <p>④ 現庁舎の耐震補強はどうなるのか。</p> <p>⑤ 熊本に支援に行かれた方の報告会などはあるのか。</p>	町長